

2008/2009 年度 開講予定校向け

Flex アカデミー校 募集要項



目次

I	Flex アカデミー	2 ページ
II	契約校への提供サービス	2 ページ
III	契約校の条件	2 ページ
IV	カリキュラム	3 ページ
V	実習環境	7 ページ
VI	学生管理と修了認定	8 ページ
VII	費用	9 ページ
VIII	トレーナーズ・トレーニング	10 ページ
IX	契約に関して	11 ページ
X	関連情報	11 ページ

I Flex アカデミー

アドビシステムズの RIA (Rich Internet Application) 統合開発環境である Adobe Flex Builder は、Web コンテンツ、デスクトップアプリケーション開発に必須な技術となってきました。

また Adobe Flex は、XML、Java、Action Script の知識を前提にした新技術であり、学校独自で新規導入するには負担が大きいと考えております。Flex アカデミーでは、各学校様へのメリットを提供すべく実施します。大きなポイントは以下です。

- Flex 導入に際しての学校の各種負担を軽減
- Adobe Flex の教育に必要な情報を提供
- 学校間の教員相互コミュニケーションによる教育の質の向上

II 契約校への提供サービス

ILA より Flex アカデミーの契約校へ、以下のサービスを提供させていただきます。

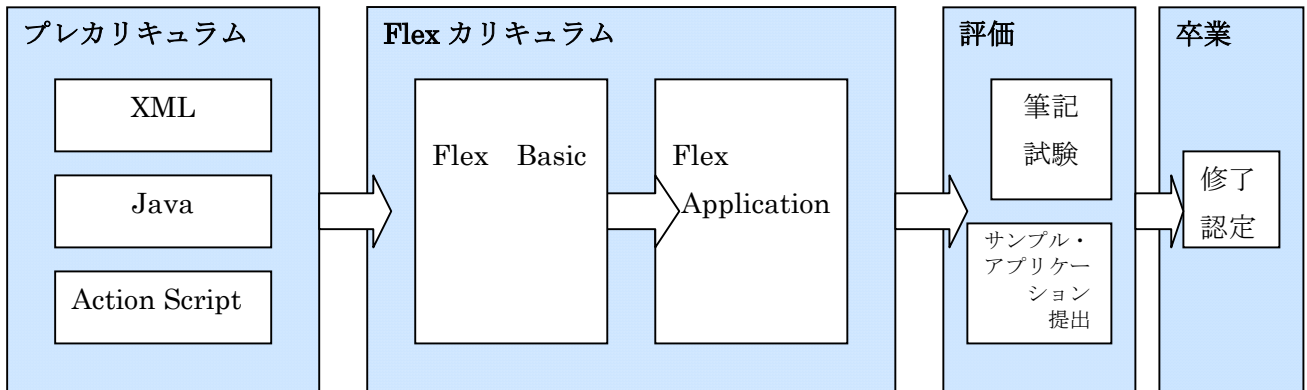
- 1) 標準シラバスの提供
- 2) テキストの指定、サブテキストの配布
- 3) Flex Builder のライセンス無償配布 (実習室 PC、教員、学生) 注) 2008 年 8 月現在
- 4) トレーナズ・トレーニングの開催
- 5) トレーナ向けアップデートセミナー開催
- 6) トレーナ相互のメーリングリスト運用
- 7) 修了試験の実施と、修了証書発行
- 8) 運用上での質問受付と対応
- 9) 契約校における Flex アカデミーロゴ使用の許諾
- 10) ILA の Web サイト上にて契約校のご紹介
- 11) ILA の Web サイト上にて学生が作成したサンプル・アプリケーションのご紹介
- 12) Flex アカデミー受講生向けイベント開催

III 契約校の条件

- 1) 1 名以上のトレーナがいること。または、1 年以内にトレーニング受講予定のこと。
- 2) 貴校の実習環境が条件を満すこと。
- 3) トレーナは Adobe 認定インストラクタ資格の取得を目指すこと。
- 4) Flex アカデミーのカリキュラム内容を基本として授業を進めること。
- 5) トレーナは、1 回/年のアップデートセミナーへ参加すること。
- 6) 学生への修了試験の実施と作成したサンプル・アプリケーションを ILA へ提出すること。

IV カリキュラム

1. 全体構成



- カリキュラムは、各校の状況に合わせてカスタマイズし、独自性を出して頂いて結構です。

2. 標準授業時間

1) プレカリキュラム

- ① XML 30時間 (2時間×15回)
- ② Java 30時間 (2時間×15回)
- ③ Action Script 30時間 (2時間×15回)

- ・ 各技術の授業を従来から実施されている場合、従来の授業に組み込まれて結構です。

2) Flex カリキュラム

- ① Flex Basic 45時間 (3時間×15回)
- ② Flex Application 45時間 (3時間×15回、内8回はアプリケーション制作です。)

3. 授業内容項目

1) プレカリキュラム

①XML

<ul style="list-style-type: none"> 1. XML 概要 <ul style="list-style-type: none"> ・XML の概要 ・XML 関連技術の概要 2. XML 文書の作成 <ul style="list-style-type: none"> ・文法 ・要素,属性,実体 ・妥当な XML 文書、 ・形式 XML 文書 ・特殊な文字/文字コード ・エンコーディング 	<ul style="list-style-type: none"> ・XML 文書の正規化 3. DTD ・基礎 <ul style="list-style-type: none"> ・内容モデル ・要素型宣言 ・属性リスト宣言/実際の処理 ・エンティティ宣言 4. XML Schema <ul style="list-style-type: none"> ・基礎 ・データ型/記述方法 	<ul style="list-style-type: none"> ・実際の処理 5. XSLT, XPath <ul style="list-style-type: none"> ・基礎 ・各要素/テンプレート ・文字エンコーディング ・実際の変換処理 ・スタイルシート内記述 XPath 式 6. 名前空間 <ul style="list-style-type: none"> ・XML 名前空間
--	--	--

②Java

<ul style="list-style-type: none"> ・オブジェクト生成とメソッド呼出 ・クラス変数とクラスメソッド ・処理の流れ ・配列 ・プリミティブ型と演算子 ・クラスの作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・メソッドの再定義と動的結合 ・例外処理、パッケージ ・マルチスレッドと並列処理 ・GUI クラス ・グラフィックス ・イベント処理 	<ul style="list-style-type: none"> ・アプレット ・データ入出力 ・ネットワークインターフェース ・コレクションとジェネリクス
--	---	--

③ActionScript

<ul style="list-style-type: none"> ・Flash 固有のプログラミング ・シンタックスの基礎 ・トップレベルのクラスと関数 ・クラスの利用,カスタムクラス定義 ・イベント処理 	<ul style="list-style-type: none"> ・MovieClip クラスを使う ・Sprite クラスを使った アニメーション ・Date クラスと Timer クラス ・外部イメージファイルの読み込み 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部テキストファイルの読み込み ・XML ファイルの読み込みと活用 ・Web ページの移動と サーバスクリプトの利用
---	--	---

2) Flex カリキュラム

① Flex Basic

<p>1 Adobe Flex とは</p> <p>2 Flex Builder の基本操作</p> <p>3 Flex プログラミング入門</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チュートリアル ・変数と関数 ・コンポーネント ・制御命令 ・オブジェクト利用 <p>4 ActionScript クラス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オブジェクト指向とクラス ・チュートリアル ・クラスの作成と継承 	<ul style="list-style-type: none"> ・インターフェイス ・アクセサ ・デザインパターン ・MXML からの実行 ・パッケージ ・ユニットテスト <p>5 Flex 機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペイントモデルとマウス操作 ・キー入力と文字列操作 ・ダイアログ、サウンド ・ローカルデータベース ・図形描画、画像表示 ・表示リスト ・正規表現 	<p>6 コンポーネントでの画面設計</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンポーネントのガイド ・ボタン、テキスト入力、コンボボックス、リスト、タイルリスト、データグリッド ・ツリー、メニュー ・画面レイアウト、ナビゲータ ・コンポーネントの作成 ・ポップアップウィンド ・バリデータによる入力値チェック ・スタイルシート ・データバインディング
---	--	---

② Flex Application

<p>1 ネットワーク機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Text/CSV ファイルの読み込み ・セキュリティによる制約 ・XML 処理 ・XML ファイル読み込み ・CGI/PHP との連携 ・ファイルのアップローダ 	<p>2 AIR</p> <ul style="list-style-type: none"> ・AIR の開発環境 ・ウィンドの作成 ・クリップボードの処理 ・ローカルファイルの読み書き ・ローカルデータベース 	<p>3 アプリケーション制作</p> <ul style="list-style-type: none"> ・独自のサンプル・アプリケーションを製作します。 ・評価用に提出して下さい。 ・グループ製作も可能です。
--	---	--

4. 学科への導入カリキュラム例(Web プログラム学科、2年制)

1 年次		2 年次	
XHTML/CSS/Javascript		Linux/サーバ構築	
Flash/ActionScript		Flex Basic	Flex Application (卒業研究)
SQL/PHP			
プログラム開発言語 アルゴリズム/Java/Perl			
I T 概論	XML インスタンス/スキーマ/XSLT/DOM/SAX/Ajax		
リテラシー教育		セキュリティ	設計技法(UML)
コミュニケーション		企画/プランニング	

5. 使用テキスト

1) プレカリキュラム

- ① XML 「XML for Flex」オリジナルテキスト
(ILA より販売中)
- ② Java 「すべての人のための Java プログラミング第 2 版」推薦図書
(共立出版 立木秀樹・有賀妙子著) 市販本 ¥2,940-(税込)
- ③ Action Script 「ActionScript(仮称)」オリジナルテキスト
(作成中 2009 年 2 月中旬 完成予定 ILA より PDF 配布予定)

2) Flex

- ① 「Flex(仮称)」オリジナルテキスト
(作成中 2009 年 2 月中旬 完成予定 ILA より PDF 配布予定)

V 実習環境

1. 学生用クライアント PC

- 1) 実習用に 1 人 1 台を用意し、FlexBuilder をインストールして下さい。
- 2) インターネット接続が可能なこと
- 3) マシンスペック(<http://www.adobe.com/jp/products/flex/systemreqs/> より)
 - ① FLEX BUILDER 3 WINDOWS 版 (STANDARD、PROFESSIONAL 共通)
 - インテル® Pentium® 4 クラスのプロセッサを搭載
 - Microsoft® Windows® XP (Service Pack 2) 日本語版、
または Windows Vista™ Home Premium 日本語版
 - 1GB 以上の RAM (2GB 以上を推奨)
 - 500MB 以上の空き容量のあるハードディスク
 - Java™ Virtual Machine: Sun™ JRE 1.4.2、Sun JRE 1.5 (同梱)、
IBM® JRE 1.5、または Sun JRE 1.6
 - Adobe® Flash® Player 9
 - ② FLEX BUILDER 3 MACINTOSH 版 (STANDARD、PROFESSIONAL 共通)
 - PowerPC® G4 1.25GHz 以上またはインテルプロセッサ
 - Mac OS X v10.4.7~10.4.10、または 10.5
 - 1GB 以上の RAM (2GB 以上を推奨)
 - 500MB 以上の空き容量のあるハードディスク
 - Java Virtual Machine: Apple 提供の JRE 1.5 または JRE 1.6
 - Adobe Flash Player 9

VI 学生管理と修了認定

1. 受講生の登録

- ・ カリキュラム開始時に、受講生の氏名等のデータを ILA へ提出して下さい。
- ・ ILA より登録された受講生への各種サポートと修了証書の発行を行います。

2. 筆記試験

- ・ 筆記試験日の2週間前までに ILA へ連絡下さい。
- ・ ILA より契約校へ試験問題と解答用紙を送付します。
- ・ 試験終了後、試験問題と解答用紙を ILA へ送付して下さい。ILA にて採点します。
- ・ 試験概要は以下です。

出題範囲：プレカリキュラム、Flex カリキュラム

試験時間：60 分

問題数：50 問

試験形式：マークシートによる選択問題

3. サンプル・アプリケーション提出

- ・ Flex で作成したサンプル・アプリケーションを ILA へ提出して下さい。
ILA にて評価します。

4. 修了条件

- ・ 以下の条件にて修了証書を学生へ発行します。
 - ①筆記試験は正解率 70%以上
 - ②提出したサンプル・アプリケーションが指定内容を満足していることで合格。
サンプル・アプリケーションの質は問いません。

5. 提出サンプル・アプリケーションの ILA サイトでの公開

- ・ 契約校が希望する学生サンプル・アプリケーションを、ILA の Web サイトにて公開します。

VII 費用 **消費税は含まれません。**

(1)大学・専門学校

①基本費用

- ・ 初年度契約金 ￥100,000- (トレーナズ・トレーニング1名を含む)
- ・ 年間運営費 ￥200,000-

②追加トレーナズ・トレーニング

- ・ XML ￥10,000- (トレーナ1名につき)
- ・ Java ￥20,000- (トレーナ1名につき)
- ・ Action Script ￥20,000- (トレーナ1名につき)
- ・ Flex トレーニング ￥30,000- (トレーナ1名につき)

(2)ビジネス系スクール

①基本費用

- ・ 初年度契約金 ￥200,000- (トレーナズ・トレーニング1名を含む)
- ・ 年間運営費 ￥500,000-

②追加トレーナズ・トレーニング

- ・ XML ￥50,000- (トレーナ1名につき)
- ・ Java ￥100,000- (トレーナ1名につき)
- ・ Action Script ￥100,000- (トレーナ1名につき)
- ・ Flex トレーニング ￥200,000- (トレーナ1名につき)

(3)工業高等専門学校・高等学校

- 別途、ご相談しますので、ご連絡下さい。

VIII トレーナズ・トレーニング

1. トレーニング日数

1) プレカリキュラム 6日間(初心者向け)

以下の順に、連続して3コース実施します。必要なトレーニングのみご参加下さい。

Java	3日間
Action Script	2日間 (Action Script2 までの方はご参加下さい。)
XML	1日間

2) Flex カリキュラム 4日間(連続)

2. トレーニングに持参するもの

- 1) 指定テキスト (書籍名は、別途ご連絡します)
- 2) ノート PC (事前にインストールするソフト等は、別途ご連絡します)
- 3) 筆記用具

3. 2008/2009 年度 実施日程

1) 第2回 トレーナズ・トレーニング(2009年春)

- 2009年2月中旬～2009年3月中旬を予定しています。
- 東京での開催を予定しています。

IX 契約

1. 契約の流れ

- 1) ILA へお問合せ下さい。学校に合せた契約形態を取らせて頂きます。
以下は、標準の契約例です。
- 2) 相談の上、契約書とお見積もりを送付します。
- 3) 契約書による契約締結後、初年度契約金と年間運営費の請求書を発行します。
- 4) 3) の金額を ILA へ払い込んだ時点で、Flex アカデミー契約校となります。

2. 契約更新

- 1) 契約は、1年ごとの更新とします。
- 2) 契約更新日は、4月1日とします。

X 関連情報

1. WEB

- Adobe.com サイト内情報
Flex 製品情報：<http://www.adobe.com/jp/products/flex/>
Flex FAQ：<http://www.adobe.com/jp/products/flex/productinfo/faq/>
Flex デベロッパーセンター：<http://www.adobe.com/jp/devnet/flex/>
- Flex 関連コミュニティ Flex User Group（日本）：<http://www.fxug.net/>
- Flex 関連ブログ Akihiro Kamijo：<http://weblogs.macromedia.com/akamijo/>

2. 授業見学 東京都内での Flex 授業の見学を受付けています。

3. 関連書籍

- Adobe AIR 完全解説（アスキー） ￥2,000-(税込) 2007/9/26 出版
- Adobe Flex 2 プロフェッショナルガイド ￥3,990-(税込) 2007/9/27 出版
- Adobe AIR プログラミングガイド ￥3,570-(税込) 2007/12/30 出版



初版 2008年8月25日発行

お問合せ窓口

NPO 法人インターネット・ラーニングアカデミー (ILA/アイラ)

〒151-0063 東京都渋谷区富ヶ谷 2-20-16 上永ビル2F

e-mail: flex@ila.or.jp Web: <http://www.ila.or.jp>

TEL:03-5465-2941(代表) FAX:03-5465-2942